



令和四年 浅草消防団新体制

わが町を 東京の
消防団の
わが手で守る
消防団
スローガン

団長就任挨拶

新浅草消防団長 田島 眞

小関団長の後任として、重責を担う事になりました「田島眞」と申します。



前団長、三田村副団長、平川副団長とともに同期で入団をして、今まで一緒に活動をしてまいりました。入団後すぐに、第三回東京都消防操法大会の選手として、私が二番員、三田村副団長が三番員として出場してから四十数年が過ぎ、褒章も頂く事が出来ました。永いだけで、団長としての役割が、どこまで出来るのかまだ判りませんが、全国の消防団員が減少しており、消防署職員、消防団員、そして地域が一つになり、安全で安心な町づくり活動をしてまいりたいと思います。今後とも、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。新任の挨拶と致します。



団長退任挨拶

前浅草消防団長 小関栄壽

平成二十九年四月より石川前団長より伝統ある浅草消防団長職を引き継ぎ、以来五年間に渡り何とか無事に務めさせていただきました。これも団員皆様のご協力、また浅草署事務局のご支援・ご指導、そして浅草防火防災協会を始めとした各消防協働団体のご支援、ご協力の賜物と痛感しております。

しかしながら一昨年よりまん延した新型コロナウイルスの影響で通常の団活動が出来ず、団員諸氏も残念な思いをした事でしょう。

さて消防団の現状を見ますと、全国的に団員数の減少、操法大会の在り方等、各種の問題が生じております。特に浅草消防団では団員数の減少が喫緊の課題となっております。そのため苦肉の策として昨年より浅草消防団の定年を七十五歳に引き上げましたが、まだまだ定員充足率が足りません。

南海トラフによる大地震災害もいつ来るか分からない今、消防団を充実させるため、普通団員だけでは無くOB団員、機能別団員等の制度を作り団員増員を目指しております。

最後になりますが、小生が団長就任時挨拶で団員の皆様をお願いした「さすが浅草消防団員」と言われるよう、常日頃より、自覚とご精進をお願いして挨拶といたします。

署長着任挨拶

浅草消防署長 三浦弘直

令和四年四月一日をもって、浅草消防署長に就任しました三浦弘直と申します。



国内有数の観光の街、浅草で勤務できたことを心から嬉しく思っています。また、浅草は私の居住する街でもあり、消防団のみなさまの活動する姿を拝見するたび、私の家族は守られ「安全・安心」に暮らせていることに感謝を申しあげます。

このたびは、田島新消防団長の第九代浅草消防団長ご就任にあたり、謹んでお祝い申し上げます。長きにわたり地域における消防防災リーダーとして、浅草の安全と安心を守る浅草消防団長として、重要な役割を担っていただいた小関前消防団長に対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

近年、自然災害は大規模化、複雑化する傾向等がみられ、「新たな災害環境」への対応が必要です。その中で、平常時から防災への備え、災害時の確実な避難

等、地域の皆さんの積極的な取り組みが益々大切となっております。

浅草消防署では、消防団と連携、協力をより一層密にし、火災等の災害、伝統ある浅草特性の各行事における消防特別警戒、防火防災訓練指導等の活動を通して、地域の皆さまの防火・防災への関心を高め、更には消防団員を目指す地域の担い手の育成により消防団員の充足を図り、管内の防火・防災に万全を期していく所存です。

消防団員の皆様には、消防署との協働体制の維持をお願い申し上げます。田島消防団長を中心に歴史ある浅草消防団の伝統を継承し、さらに強固な団結と崇高な使命感を堅持され、地域の防災リーダーの中核としてのご活躍をお願い申し上げます。

方面本部長祝辞

第六消防方面本部長 野村功嗣



第九代浅草消防団長へのご就任まことにおめでとうございませう。浅草消防団は、歴史ある浅草の安全、安心のため精力的に活動されてきた伝統ある消防団です。また、浅草は三社祭や鳥越祭、さらには隅田川花火大会や浅草サンバカーニバルなど、大規模なイベント開催により全国から注目されている町でもあります。

田島新消防団長には、歴史と伝統ある浅草消防団の統括、指揮監督にこれまでの消防団経験で培われた手腕を発揮していただき、浅草消防団の益々の発展にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

また、小関前消防団長におかれましては、世界的に著名な浅草の町の安全、安心のため、多年にわたり昼夜を分かたず献身的にご尽力いただきましたこと、改めて感謝を申し上げます。特に、消防団長就任以来、災害活動力の向上や警戒活動における団員育成など、大いに手腕を発揮して頂きましたことに衷心より敬意を表す次第です。大変ありがとうございました。

さて、近年、全国各地で発生している集中豪雨をはじめとする自然災害により防災・減災に対する都民の皆様のご関心も非常に高くなっています。これにより消防署、消防団の大規模災害等への活動には、これまで以上の活動要請が求められることでしょう。

これらの期待に防災機関として応えるためには、行政区をはじめ、地域住民の皆様のご理解とご協力、そして何より消防団の皆様との強固な連携がなければ成しえることはできません。第六消防方面本部としても、浅草消防団の皆様とも日頃から顔の見える関係を築き、効果ある防火、防災施策を推進していく所存です。どうか、今後とも密接な連携とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今後、浅草消防団が田島消防団長を中心にご隆盛を極められますとともに、団員及びご家族皆様のご健勝、ご多幸、さらには地域の安寧を心からお祈り申し上げます、挨拶といたします。

令和四年 表彰

『消防総監賞』

○功績章

第一分団 分団長 萬 勝巳

○優良表彰

第二分団 副分団長 立川 浩司

第四分団 副分団長 諸星 正人

第二分団 団員 井上 宗

第二分団 団員 松崎 知子

『台東区長表彰』

○勤続賞 三五年勤続 伊豫永直一

第四分団 副分団長

○勤続賞 二五年勤続 熊木 孝司

第二分団 副分団長 大澄 隆

第三分団 部長

○勤続賞 二〇年勤続

第一分団 副分団長 石村 宣弘

第一分団 部長 横山 清孝

第一分団 部長 手塚 哲

第二分団 部長 荒川 修次

第二分団 部長 渡邊 恭男

○勤続賞 一五年勤続

第二分団 部長 松下雄一朗

第四分団 部長 大目加奈子

第二分団 部長 鈴木真智子

第二分団 部長 服部 麻美

第四分団 班長 青谷 始

第二分団 班長 黒田美由紀

○勤続賞 一〇年勤続

第三分団 部長 沼 邦彦

第一分団 班長 藤倉 照章

第一分団 班長 横山 愛

第二分団 班長 渡邊 雄太

第四分団 班長 伊藤 寿晴

○優良賞 五年勤続

第二分団 団員 井上 宗

第二分団 団員 松崎 知子

『台東区長感謝状』

○台東区長家族感謝状 佐藤 由貴 様(第一分団 佐藤副分団長)

志村 裕久 様(第一分団 志村部長)

寺澤 美千代 様(第三分団 寺澤部長)

齋藤 泰男 様(第四分団 齋藤班長)

『消防署長表彰』

○成績優秀団員 第二分団 部長 渡邊 恭男

第一分団 班長 針山 欣之

第二分団 班長 渡邊 雄太

第一分団 団員 新谷 修宏

第一分団 団員 大和めぐみ

第二分団 団員 伊藤 岳

第三分団 団員 河上 実樹

第三分団 団員 中嶋 恵

○防災訓練指導活動功労表彰

第一分団 班長 白倉 秀平

第二分団 班長 黒田 陣弥

『消防署長・消防団長家族感謝状』

松下 多恵子 様(第二分団 松下部長)

西野 理紗子 様(第四分団 大目部長)

鈴木 邦男 様(第二分団 鈴木班長)

服部 高志 様(第二分団 服部班長)

青谷 綾 様(第四分団 青谷班長)

黒田 陣弥 様(第二分団 黒田班長)

『消防団長賞』

○入団促進功労 第二分団 分団長 光岡 英明

第四分団 分団長 金子 眞一



『消防団長感謝状』

○消防団活動協力町会 浅草橋五丁目柳北町会 防災部長

野村 尊一 様

日本健康医療専門学校 様

編集後記 第一分団 重岡 卓

令和二年にはじまった新型コロナウイルスの流行は、二年以上たった現在もまだ終息をみせていません。そんな中でも、東京において、令和二年には火災件数三六九四件・火災による死者八六八人、令和三年には火災件数三九三六件・火災による死者八七人(令和三年は速報値、いずれも東京消防庁のサイト参照)と、火災による被害が発生しております。

浅草消防団におきましても、例年通りとはいかないものの、感染症対策に配慮したうえで活動を行ってまいりました。「自分たちの町は自分たちで守る」を合言葉に、これからも浅草の町を火災から守るべく活動してまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

なお、浅草消防団では、新規入団員を随時募集しております。ぜひお近くの消防署、消防団員までお声掛けください。

ダンプレス 編集委員

- ☆委員長 榎田 賢二
- ☆副委員長 杉山 年昭
- ☆委員 金田 寿美枝・西井 敏彦
- 第一分団 重岡 卓・白川 貴康
- 第二分団 渡邊 雄太・黒田 陣弥
- 第三分団 杉山 寛人・沼 邦彦
- 第四分団 雨宮 哲・齋藤 充広

